

12. テーマについて

1班 遊びや体験活動などについて

「遊びと体験」と「生涯にわたる幸せ」との関係について

遊びや体験は、子ども・若者の健やかな成長のもとになるもので、子どものときだけではなく、生涯にわたる幸せにつながるものと考えています。国が作った文書にも、次のようなことが書いています。

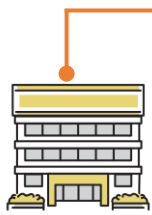
<こども大綱>

子どもが遊びに没頭し、身体の諸感覚を使い、自らの遊びを充実、発展させていくことは、

- ✓ 言語や数量の感覚などの**認知的スキル**、
- ✓ 創造力や好奇心、自尊心、想像力や思いやり、やりぬく力、折り合いをつける力などの**社会情動的スキル**を育てることに加え、
- ✓ **多様な動きを身に付け、健康を維持すること**につながる。

⇒ こういったことが**生涯にわたる幸せ**につながっていく。





こども家庭庁

こども家庭庁では、小学校1年生までの重要な時期に、こども一人ひとりが健やかに育つことができるよう、社会全体の皆さんに大切にしてほしい考え方として、去年の12月22日に「はじめの100か月の育ちビジョン」をつくりました！

「はじめの100か月」とは？

- お母さんが妊娠してから、こどもの小学校1年生までが、だいたい100か月。
- 人生を幸せな状態で過ごすため、特に大切な時期とされています。



大切にしたい！5つのビジョン

- 01 こどもの権利と尊厳を守る
- 02 「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高める
- 03 「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える
- 04 保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする
- 05 こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

- ✓ 乳幼児の成長には、おとなとの「アタッチメント（愛着）」【安心】を土台にして、様々なこどもやおとなと出会い、色々なモノや自然といった環境と関わることを通して、豊かな「遊びと体験」【挑戦】を繰り返していくことが大切です。
- ✓ 「はじめの100か月の育ちビジョン」をより多くの人に広めていき、共感してもらうことで、そうした「遊びと体験」の機会を充実させていきたいと思っています。





こども家庭庁

すべてのこどもが安全で安心して過ごせる多くの居場所を持てるために、こども家庭庁は、こどもの居場所づくりを進めています。よりよいこどもの居場所が社会の中に広がっていくことを後押しするべく、去年の12月22日に「こどもの居場所づくりに関する指針」をつくりました！

こどもの居場所って??

その場を居場所と感じるかどうかは、本人が決めることです。また、こどもが過ごす場所・時間、人との関係性すべてが、こどもにとって居場所になり得るため、外遊びや体験活動、オンラインなども含んでいます。

こどもの居場所づくりをどう進めるの？

「居たい」「行きたい」「やってみたい」と思える、こどもの視点に立った居場所づくりを進める。

- ① こどもの声を聴き、こどもの視点に立ち、こどもとともに居場所をつくること
- ② こどもの権利を守ること
- ③ 国や役所、市民が一緒に協力して、こどもの居場所づくりを進めること。



こども食堂



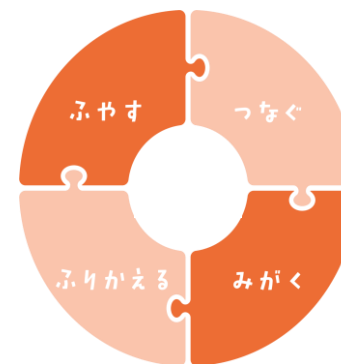
図書館



オンライン
空間



ゲーム



遊びはこどもの^{はったつ}発達にはなくてはならないものです。
そのため、こども家庭庁ではさまざまな場面で遊びについて取り組んでいます。
ここでは、^{じどうかん}児童館と児童遊園をご紹介します。

児童館

こどもたちの身近な遊び場・居場所



- ・ 全国に4,301か所（令和4年10月1日現在）
- ・ 県や市町村が^{せっち}設置しているところが多い
- ・ 誰でも遊びにいける^{たてもの}建物
（中・高校生世代も）
- ・ ^{むりょう}無料で遊べるところがほとんど
- ・ ^と泊まれたり、乗り物がある児童館も
- ・ 運動、読書、工作、音楽、ボードゲーム、
^{きせつ}季節行事、パソコン などができる

児童遊園

外遊び、身体を動かす遊びができる場所

- ・ 全国に2,074か所（令和4年10月1日現在）
- ・ 誰でも遊びにいける広場
- ・ ブランコ、^{すなば}砂場、すべり台などがある
- ・ こどもが安全に使えるように、
定期的に^{かんり}管理をする人がいる

どちらとも、
児童福祉法に書かれている
児童福祉施設です。



こども家庭庁が行っていること

- ・ 児童館での遊びのプログラムの開発（文化的なものなど）
- ・ 児童館での活動開発（年齢や発達にあわせたものなど）

皆さんから聞きたいこと

質問① どんな遊び場や居場所があったらいいと思いますか？

質問② その場にどんな道具やスペース、イベントがあってほしいと思いますか？

質問③ 「遊びにくい」と感じる場面はどんな場面ですか？

体験活動について

みなさんが、大人になって社会で生活していくために必要となる力を身に付けるためには、こどもの時から色々なことに挑戦、経験することが大事です。そのためには、私たち、みなさんの身近にいる大人が、みなさんの生活の中でさまざまなことを体験できる時間や場を作っていくことが必要だと考えています。

■体験活動ってなに…？

自然体験

キャンプ、登山、カヌー、サイクリング、スキー、クラフト等



集団活動

子ども会、委員会、係、クラブ等



地域行事

お祭り、スポーツ大会、音楽祭、交流イベント等



社会貢献

清掃活動、募金活動、環境保全活動、地域おこし等



職業体験

農林漁業体験、インターンシップ等



文化芸術体験

音楽、絵画、演劇、書道、舞踊、茶道、華道等



科学体験

科学実験・工作、ロボット制作、プログラミング等



国際交流体験

国際交流事業、ホームステイ、イングリッシュキャンプ等





みなさんがさまざまなことを体験することができる時間や場を作っている大人たちへの支援

例えば... 離島にある団体た と りとう だんたいが、島のキャンプ場で海の生き物を観察する活動かんさつを実施じっししています！



学校の行事で友達と一緒に泊まってさまざまことを体験することができるようにするための支援

例えば... 山の家はん すいはん りょうりに泊まって、みんなで山に登ったり、飯ごう炊飯で料理をしたりします！



みなさんに劇や踊りなどを観て楽しんでもらう時間や場を作るための支援

例えば... プロの劇団ひろうが学校の体育館で劇を披露してくれます！



家族みんなわそう いご しょうぎで、茶道、華道、和装、囲碁、将棋などの古くからある文化ふに触れて楽しんでもらう時間や場を作るための支援

例えば... 公民館などに家族みんなわそう いご しょうぎで参加して着物を着たり、囲碁や将棋で遊んだりします！

これからみなさんがさまざまなことを体験できるようにするために、どのようなことに取り組んだらいいか参考にしたいので、みなさんの考えを教えてください！

質問④

- ・ さまざまな体験活動がありますが、みなさんがやったことがある活動はありますか？
- ・ またやってみたい活動は何ですか？
- ・ やってみたい活動がどのような場所や時期で開催されると参加できますか？